

○子守唄の里野外音楽ステージ条例

平成4年6月20日

条例第20号

(設置)

第1条 市民が山間の緑と新鮮な大気に恵まれた自然環境の中で、演奏や演劇等に親しむことにより、情操豊かな人間形成を図り、もって地域文化芸術の振興に資するため、子守唄の里野外音楽ステージ（以下「野外ステージ」という。）を井原市笹賀町1383番地1に設置する。

(職員)

第2条 野外ステージに所長その他必要な職員を置くことができる。

(使用許可)

第3条 野外ステージを使用しようとする者は、市長に申請し、その許可を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 建物又は附属設備を破損するおそれがあると認められるとき。
- (3) その他市長が管理上支障があると認めるとき。

2 市長は、前項の許可について、管理上必要な条件を付することができる。

(使用料)

第4条 前条第1項の規定により許可を受けた者は、別表に定める使用料を納付しなければならない。

(使用料の還付)

第5条 既納の使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を還付することができる。

- (1) 使用者が不可抗力により使用できなかったとき。
- (2) 設置者の都合により使用の許可を取り消したとき。
- (3) 使用者が使用期日の3日前までに使用許可の取消しを申し出て、市長が相当の理由があると認めたとき。

(使用料の減免)

第6条 市長が特に必要であると認めたときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第7条 使用者は、使用許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第8条 使用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用条件を変更し、又は使用を停止し、若しくは使用の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例に違反したとき。
- (2) 使用許可の条件に違反したとき。
- (3) その他市長が相当の理由があると認めたとき。

2 前項の取消し等により生じた損害については、市はその責めを負わない。

(使用者の遵守事項)

第9条 野外ステージの使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用許可を受けていない設備又は器具類を使用しないこと。
- (2) 許可を受けずに壁、柱、扉等に紙類を貼り、又は釘等を打たないこと。
- (3) 火災、盗難等の発生予防に留意すること。

(入場者の遵守事項)

第10条 野外ステージへの入場者は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙し、若しくは火気を使用すること。
- (2) 所定の場所以外に出入りすること。
- (3) 施設の内外を不潔にすること。
- (4) その他施設の運営に支障をきたすこと。

(原状回復の義務)

第11条 使用者は、野外ステージの使用が終ったとき、又は使用を取り消され、若しくは停止されたときは、直ちに原状に復さなければならない。

2 使用者が前項の義務を履行しないときは、市長において原状に復し、これに要した費用を使用者から徴収する。

(使用者の責務)

第12条 使用者は、野外ステージの使用にあたっては、十分な注意を払い、滅失し、又は破損したときは、速やかにこれを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長においてやむを得ない理由があると認めたときは、これを減免することができる。

2 野外ステージにおいて、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

- (1) 募金その他これに類する行為
- (2) 物品の販売、宣伝、広告その他これらに類する行為

(指定管理者による管理)

第13条 野外ステージの管理に関する業務のうち、次の各号に掲げるものについては、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

- (1) 野外ステージの利用の許可に関する業務
- (2) 野外ステージ及び設備の維持管理に関する業務

(3) その他野外ステージの管理上、市長が必要と認める業務

(指定管理者の指定期間)

第14条 指定管理者の指定期間は、5年以内とする。

(指定管理者の権限)

第15条 指定管理者は、指定が効力を有する間、第3条、第5条、第6条及び第8条に定める市長の権限を指定管理者の名において行うものとする。この場合において、使用料を利用料金として指定管理者の収入とする。ただし、地方自治法第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

2 前項の場合において、第3条の見出し中「使用許可」とあるのは「利用許可」と、同条中「使用」とあるのは「利用」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第4条（見出しを含む。）中「使用料」とあるのは「利用料金」と、第5条（見出しを含む。）中「使用料」とあるのは「利用料金」と、「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用」とあるのは「利用」と、「使用期日」とあるのは「利用期日」と、「使用許可」とあるのは「利用許可」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第6条（見出しを含む。）中「使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第7条の見出し中「目的外使用等」とあるのは「目的外利用等」と、同条中「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用許可」とあるのは「利用許可」と、「使用」とあるのは「利用」と、第8条中「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用条件」とあるのは「利用条件」と、「使用」とあるのは「利用」と、「使用許可」とあるのは「利用許可」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第9条（見出しを含む。）中「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用許可」とあるのは「利用許可」と、「使用」とあるのは「利用」と、第11条中「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用」とあるのは「利用」と、第12条（見出しを含む。）中「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用」とあるのは「利用」とする。

(利用料金)

第16条 前条第1項の利用料金は、別表に掲げる使用料を基準額とし、当該額に0.5を乗じて得た額から当該額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が定める。この場合において、別表中「野外ステージ使用料」とあるのは「野外ステージ利用料金の基準額」とする。

(指定管理者の指定の取消し等があった場合における使用料の取扱い)

第17条 利用者は、指定管理者の指定が取り消されたとき、又は管理の業務の全部の停止を命ぜられたときは、前条の規定により定められた額を野外ステージの使用料として市に納付しなければならない。

2 第4条、第5条及び第6条の規定は、前項の使用料について準用する。

(指定管理者の責務)

第18条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設を直ちに原状に復さなければならない。

2 指定管理者は、故意又は過失により施設を滅失又は破損したときは、これを原状に復し、又はその損害を市に賠償しなければならない。

3 指定管理者が前2項の義務を履行しないときは、市長において原状に復し、これに要した費用を指定管理者から徴収する。

(委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年9月1日から施行する。

附 則 (平成12年12月15日条例第34号)

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の別表の規定は、この条例の施行の日以後使用許可申請のあったものから適用する。

附 則 (平成15年7月1日条例第20号)

この条例は、平成15年7月19日から施行する。

附 則 (平成17年9月27日条例第31号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

別表 (第4条関係)

野外ステージ使用料

(1時間当たり)

区分	昼間 (午前9時～午後5時)	夜間 (午後5時～午後9時)
市内に居住し、又は通勤している者	500円	600円
その他の者	600円	720円